

進捗報告書（実行団体）

事業名:	コロナ禍でもつながる居場所推進事業
資金分配団体:	NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
実行団体名:	諏訪圏域子ども応援プラットフォーム
実施時期:	2020年12月～2021年11月
事業対象地域:	長野県諏訪地域
事業対象者:	長野県諏訪地域のこども食堂、こどもを中心とした居場所運営団体、居場所運営を目指す方、居場所への参画を希望する方、こども、若者、保護者、地域に暮らす方、地域の企業

Version 1.2
日付: 2021年xx月xx日

I. 事業概要

事業概要
コロナ禍でこれまで以上に、地域の課題が浮き彫りになり、地域に根差した居場所やこどもの支援が必要とされるが、各活動団体も運営に悩む現状があることから、運営団体の悩みや課題を聞きながら訪問するコーディネーターを設置する。これまでの登録団体の活動を紹介するHPを最新に更新し、実際の活動が地域の必要とされる方に届きやすくする。相対的困窮など目に見えづらい貧困状態のこどもや家庭を地域の活動に繋がりやすくするため、これまで作成してきた冊子やマップを活用し、地域のイベント等でも広報する。また企業のSDGsの取り組みとの連携により活動団体と繋げ、新たに活動を始めたい地域の方を支援し、若い世代の活動の参加を促す。

II. 進捗報告の概要

総括
事業実施当初は、メンバーが不慣れなこともあり、登録団体への訪問や聞き取りも思うように実施が進まなかったが、毎週のオンラインミーティングを行い、状況を話し合っ進めている。これまでの情報発信のみでの活動より、訪問することで、各団体とのつながりもでき、食材などの配布件数も増加した。コーディネーターの訪問による効果を実感できている。今後も継続し、各団体の連携に加えて、企業などとの連携も深めていきたい。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>"・現在登録している80余りの活動団体に加え、新規の登録の団体の情報紹介をHPで行い、メール等での情報の配信をする。HPやSNSで活動団体も居場所を利用することも地域の方へわかりやすい情報の掲載と発信を行うことで、活動する団体や個人や、居場所利用のこどもや地域の方へも居場所の情報が行き届く。</p> <p>・居場所のコーディネーターの直接訪問による食材や情報の提供、各団体の更新情報や課題の聞き取りを行い、企業へはCSR、SDGsの研修や連携事業の提案をする。活動団体と企業や支援団体、行政とのマッチングや活動支援をすることで、食材提供、資金確保の仕組みをつくり、各団体のウィズコロナ、アフターコロナの時代に合った運営の形の確立を促す。</p> <p>・団体の運営に参画する住民やこども支援団体の増加、人材育成、課題解決のヒントとなる研修会や講演会（ドーナツトーク田中氏）を行い、こどもや地域住民の利用が拡大し、地域の支援体制が整う。"</p>	<p>・登録団体のうち、HP掲載団体については、HP情報の修正を聞くために訪問し、新規の団体は掲載情報を聞き取っている。現在情報は12件。順次掲載を行う。HPの保全と修正を行い、より情報を見やすく修正した。Facebookページやグループで、情報を発信し、活動団体同士や地域の方に情報を発信している。毎月の交流会の開催情報、助成金、食材等の提供情報などをメールで配信している。</p> <p>・毎月発行される地元のフリーペーパーに居場所の開催情報を掲載することで、地域の方々に情報を提供している。</p> <p>・居場所コーディネーターによる、居場所マップの配布は登録団体へほぼ完了。</p> <p>団体46件、行政関係6市町村の保育園、小中学校、公共施設等、協賛企業25件、高校14件、2万枚程度配布。登録団体の聞き取りアンケートも行う。</p> <p>企業への研修の案内はできていない。</p> <p>・交流会への参加や問い合わせ、相談に対応し、こども食堂や居場所の活動に参加したい方、食材提供したい方などを繋げ、新たに開設したい方を支援している。</p>

活動	進捗状況	概要
HPの更新、掲載団体情報の情報整理、新規団体情報更新、開催情報更新、メンテナンス等を行い、誰でもわかりやすいHPにする	遅延あり	HPのメンテナンス、ページの修正などは、ほぼ完了。 掲載団体と新規掲載団体の情報の聞き取りの収集は現在12件。順次更新している。直接聞き取りを行うため、情報の収集は遅れている。
SNSでの情報発信、登録会員へのメールでの情報発信を行い、居場所運営団体や個人へ届きやすい情報を常に発信する。	ほぼ計画通り	交流会の情報、食材提供、助成金情報などをHP、SNSで発信している。 登録団体へのメール配信で情報を提供。 毎月の居場所の開催情報を地元の、諏訪地域に各戸配布されるフリーペーパーに掲載し、地域の方々に届ける。掲載団体からは、フリーペーパーを見た。という参加者が増えていくと聞く。
運営団体を訪問し、活動の課題を調査するコーディネーターにより、各団体、行政、企業、地域住民、学生などとの連携を促す。	遅延あり	登録の居場所運営団体への訪問を進めている。訪問時に活動の聞き取りアンケートを行い、活動の事例や困りごとを調査している。 コーディネーターが団体同士の連携を促しているが、企業や地域との連携は進んでいない。
コーディネーターによる、食材提供団体、企業等の食材などを諏訪地域の活動団体への配布。	ほぼ計画通り	登録団体への居場所マップの配布はほぼ完了。 食材や提供品などを配布している。食材の情報を発信することにより、必要な団体へ提供している。
ニーズに合った研修会の実施。SNS講座、コロナ禍での運営方法に関わる研修、資金確保の研修等を、会場やオンラインで開催する。	ほぼ計画通り	コロナの状況もあり、交流会における研修会はオンラインのみや、会場とオンラインの併用で実施。実際に活動する団体の視察を兼ねた交流会、SDGsの研修などを行う。
活動団体の課題などの情報を共有するための意見交換を行う場を作り、課題解決に向けた取り組み事例などを共有する。	ほぼ計画通り	交流会では、運営団体同士の意見交換を行い、開催の困りごとや、活動の事例などを共有して、各団体の運営のヒントに活かしてもらう。
コーディネーターによる各団体へのアンケート等の調査をまとめた報告書の作成。情報誌やHPなどによる紹介。	遅延あり	聞き取りの件数がまだ少ないが、徐々に情報が集まり、今後、調査をまとめた冊子づくりをする。年度の区切りで、4月より広報チームを再編し、メンバーがHPや情報誌について話し合っていく。
コーディネーターの資質向上と連携を促す事業の推進のために研修、資格試験を受ける。SDGs地域創生ファシリテーター、ファンドレイザー、CSR3級	遅延あり	SDGs地方創生ファシリテーターの研修を1名が取得し、内部研修を行った。 あいサポーター研修を受け、長野県のあいサポート団体に認定された。内部へのCSR研修、ファンドレイジング研修は実施ができていない。今後CSR研修を計画している。
登録情報の整理、申し込み、問い合わせ対応等の事務処理を行う。	ほぼ計画通り	登録情報を整理し、交流会の申し込み、問い合わせに対応している。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
諏訪圏域の子ども、子育て世帯、地域住民に子ども食堂や居場所の情報がいきなり、困窮する家庭が支援につながる。居場所を求めると運営する方をつなぎ、地域のコミュニティが充実する。 地元の企業や地域住民が子ども食堂や居場所に理解を示し、参画できるよう広報活動をし、理解を深めるための企画を継続していく。そのことにより、運営者が運営の課題を克服し地域全体で子どもの育ちを見守ることができるようになる。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥1,499,200	¥3,306,640	¥4,805,840	¥1,740,606	36%
	管理的経費	¥280,000	¥560,000	¥840,000	¥336,000	40%
合計		¥1,779,200	¥3,866,640	¥5,645,840	¥2,076,606	37%
補足説明		情報の収集は遅れ気味だが、このまま継続した活動を行うことで、事業完了までに登録団体の訪問を完了するようにしていく。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
団体の訪問を行う居場所コーディネーターのメンバーが、それぞれの事情で時間が取れず、訪問が遅れている。 新たなメンバーも加わり、訪問を進めていく。

VII. その他

自由記述
HP、フリーペーパー、SNSなどで情報を知って子ども食堂に参加する方が増えていることを運営者から聞く。 情報があることで知らなかった子どもの支援につながったこともあり、周知の活動の必要性を感じる。 運営者を直接訪問することで、食材の提供を受ける子ども食堂が増加し、地域の課題や運営の課題をよく知ることができている。運営者との関係性も築けてきている。

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	
広報制作物等	有	月刊ぶらざへの居場所情報の掲載（毎月）
報告書等		

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	